

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2027年3月31日	評価番号	A-232	
評価技術名称					連絡先	http://www.			
部分開口 構造用合板補強工法					〒				
大壁「上下あき」間柱なし					電話	Fax			
概要	技術概要 梁及び土台と面材が接合せず、床天井間のみを構造用合板で補強する工法。								
	技術の特徴						コスト		
	<ul style="list-style-type: none"> 天井・床を解体することなく補強が可能。 壁体内に土壁や設備配管等が存在しても施工可能。 一般流通品なので取り扱いが容易。 						サンプル構面	12,628 円/kN	
							設計見積り例	あり	
公的機関による技術評価・性能証明					実験実施機関				
機関名					名古屋工業大学				
評価番号					その他				
評価取得日									
仕様	適用範囲				写真・図				
	構法	木造在来軸組工法							
	規模	3階建て以下							
	基礎、地盤	特になし							
	適用部位	内外壁							
	その他	特になし							
	主要構成部材の仕様								
	構造用合板 厚 12mm 以上								
	釘 N50、CN50 @100 以下								
	間柱なし、継手受材、上下受材あり								
耐震性能									
評価仕様: 大壁直貼仕様									
壁基準耐力		壁基準剛性							
5.2kN/m		730kN/rad./m							
A-111 からの低減係数 $\alpha = 1.0$									
壁基準耐力 $5.2 \times 1.0 = 5.2$									
設計方法									
①柱接合部による低減									
取付部分が健全であること									
②劣化による低減									
取付部分が健全であること									
施工者指定									
特になし									
その他									
				<p>部分開口 $a+b \leq 370\text{mm}$</p> <p>継手受材は正面から見て 90mm</p> <p>上下受材は正面から見て 45mm</p> <p>厚 12 @100</p> <p>$600 \leq W \leq 1000$</p> <p>大壁 間柱なし</p> <p>構造用合板 厚 12mm 以上</p> <p>釘 N50、CN50 @100mm 以下</p> <p>四周打ち</p> <p>継手受材 30×90mm 以上</p> <p>釘 柱に対し 2-N75 斜め打ち</p> <p>上下受材 90×45mm 以上</p> <p>釘 柱に対し 2-N75 斜め打ち</p>					